



無会派
高橋利宗 議員
が問う！

移住定住施策の
さらなる充実が必要!!

人口減少対策について

相馬市において、少子高齢化などにより、人口ビジョンの予想を上回る速さで人口減少が進んでいる。人口減少対策として、企業誘致や令和5年2月に移住定住総合窓口を設置するなど、様々な施策に取り組んでいるが、施策の取り組み状況と今後の取り組みについて質問する。

Q. 移住定住施策の現状について問う。

A. 市は、移住定住施策強化のため、令和5年2月に「そうま移住定住総合窓口」を開設し、移住に必要な情報の発信や総合的なサポートを行っている。

開設以降、令和5年11月末までに51件の問い合わせや相談があり、その内容は主に支援金・補助金、住まい、仕事、市の概要についてとなっている。
また、首都圏からの就労等を目的とした移住者へ支給する移住支援金の支給実績は4件、760万円、県外から移住し、新たに住宅を取得した方へ支給する住宅取得支援事業補助金は2件、320万円となっている。

Q. 今後の取り組みについて問う。

A. 市は、移住相談者の増加を目指し、ホームページでの相談受付や情報交換を強化しているが、現状は補助金の確認が中心で、具体的な移住相談が少ないという課題がある。

解決策として、移住コーディネーターとの連携の他、NPO法人ふるさと回帰支援センターと連携を深め、首都圏での情報発信の拡大に取り組んでおり、令和5年10月には、東京都内で開催された県主催のイベントに参加し、具体的な相談を受け付けている。
また、市は、具体的な住まいの相談に柔軟に対応できるように空き家バンクの開設に向けて、宅地建物取引業協会との協議を進めている。

市としては、今後、情報発信を強化し、移住希望者に市の魅力を伝え、移住・定住していただけるよう、親身に相談対応していきたいと考えている。

その他の質問

- 防犯対策について
- 子育て支援について



動画は
↑こちらから↓



にじ
杉本智美 議員
が問う！

ふるさと納税制度を
活用すべき!!

ふるさと納税について

ふるさと納税制度は所得税や住民税から控除されるものであり、返礼品の効果もあり年々利用者が増加している。市もふるさと納税制度を活用し、寄附をつづけているが、現在の状況について質問する。

Q. ふるさと納税の状況について問う。

A. 市は、平成20年度からふるさと納税を行い、寄附は震災復興や教育・子育て支援などに役立てられている。

直近3年間のふるさと納税は、年間150件程度、

2,000万円前後で推移している一方で、市が受ける寄附額と市民が他地区へのふるさと納税することによる税控除額を比較すると、控除額が上回る傾向にある。

なお、個人のふるさと納税の寄附額に、企業や団体からの寄附を加えた総額については、年間4,000(6,000万円)で推移しており、この合計から市民への税控除額を差し引いた残額は、寄附額が控除額を上回っている状況である。

Q. 寄附者への返礼品について問う。

A. 市は、平成27年度からふるさと納税の返礼品に、寄附額10万円を1口として、相馬市産のお米セット15kgを採用し、風評払拭に取り組んでいる。令和4年度までの返礼品送付件数は、累計で347件、961口となっている。

なお、令和5年8月にALPS処理水の海洋放出により、海産物に対する風評被害が懸念される中、周囲から応援の声を多くいただいていることから、風評払拭にも貢献できるように、新たに海産物を用いた返礼品の検討を進めている。

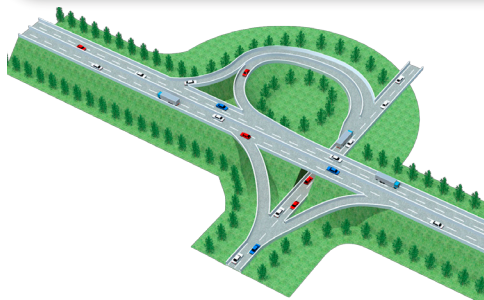
また、現在、ふるさと納税の増収の成功事例である宮崎県都市と情報交換を行っており、今後も先進自治体との情報交換をさらに深め、ふるさと納税の拡充に向けた対応を進めていきたいと考えている。

その他の質問

- 市議会議員選挙について



動画は
↑こちらから↓



基幹交通網に関する
特別委員会を設置

令和5年12月20日開催の12月定例会本会議最終日に、市に関連する道路等の整備や利便性向上のための調査や要望活動を行うため、「基幹交通網に関する特別委員会」を設置しました。詳細は以下のとおりです。

12月定例会
日程、内容、傍聴者数について

12月定例会の本会議の日にち毎の主な内容、傍聴者数についてお知らせいたします。

本会議	日にち	内容	傍聴者数
1日目	12月 4日 (月)	議案の上程等	4人
2日目	12月 7日 (木)	一般質問等	53人
3日目	12月 8日 (金)	一般質問	2人
4日目	12月20日 (水)	議案採決	17人

名称 基幹交通網に関する特別委員会
付議事件

- ① 「常磐自動車道」の早期全線4車線化
 - ② 「東北中央自動車道・相馬福島道路」の利便性向上
 - ③ 「国道6号」の整備促進
 - ④ 「JR常磐線」の利便性向上
- 以上、4点に関する事項の調査検討及び要望活動

委員長 河内 幸夫
副委員長 横山 和雄
委員 愛澤 俊行・菊地 清次
只野 敬三・浦島 勇一